

IPv6 Summit 2013

IPv6協議会活動報告

IPv4/IPv6共存WG

- IPv6家庭用ルータSWG
- IPv6導入に起因する問題検討SWG
- アプリケーションのIPv6対応検討SWG

主査／ITホールディングス 荒野高志

IPv4/IPv6共存環境を取り巻く全体トピックス

- IPv6 Launch対応
 - 関係者の努力と周知もあり、IPv6 Launchを通じて、フォールバック問題についての理解／対応が進んでいる
 - アクセス網のIPv6対応(デュアルスタック対応)も徐々に増加
 - CERouterのIPv6対応を認定する仕組みは、v6家庭用ルータSWGとサーティフィケーションWG、JATEの協力により日本でのテスト体制が整えられた
- IPv4/IPv6共存環境に関する議論の進展
 - 事業者のIPv6対応が進む中でアプリケーションのIPv6対応が残された課題となっている
 - アプリケーションのIPv6対応検討SWGにて議論を進めており、ガイドラインを公開した

- IPv6家庭用ルータガイドライン2.0版の英語版の公開
 - 2010年8月に公開したIPv6家庭用ルータガイドライン2.0版の英語化作業を実施し、2012年2月に公開
- 家庭用IPv6ルータに関する他資料の調査
 - 現状のガイドラインとの差異を明確化し、必要に応じてガイドラインのアップデートに盛り込む
 - これまでに、BBF TR-124i2及びRFC6204を対象とした作業を行った。
 - 作業結果の公開は現在検討中
- 今後の作業計画
 - ガイドライン改版検討
 - TR-124i2/RFC6204関連作業の成果まとめ
 - IETF等へのフィードバックの検討

IPv6導入に起因する問題検討SWG

- 特にセキュリティに係る課題についての再整理
 - IPv6導入に起因する課題から、セキュリティ課題を抽出し、セキュリティWGにて再整理中
- 個別トピックについての議論
 - フォールバックを行わないプロキシの存在等について確認

- アプリケーションのIPv6対応に関して議論
 - Webアプリケーションに関する要求、ソケットプログラミングに関する要求の両面から議論を実施
 - 2012年12月にソケットプログラミングに関する検討成果をまとめ、「アプリケーションのIPv6対応ガイドライン基礎編(第1.0版)」として一連のガイドラインを公開
 - IPv6に対応したソケットプログラミングのガイド、実際のプログラムサンプル、AsteriskのIPv6 対応ノウハウについて紹介している
- 今後の予定
 - 引き続き、WebアプリケーションのIPv6対応について議論を継続しガイドラインとしてまとめていく
 - 勉強会などの開催など、啓蒙活動も検討していく
- メンバー、勉強会のパトロンは常時募集中！